



海の幸を育む 山に緑を



団体紹介

すし業界の発展を図ることを目的とし、昭和43年に設立。現在県下に11支部をもち、組合員が加盟している、山形県内のすし商経営者の団体です。



活動内容

豊かな海を育てるのは川、水の源は森林であるとの考えのもと、良質な水質を維持し、海や川の幸を守り育てると共に、美しい県土の形成を図るため、平成15年に「源流の森」に500本のブナを植栽し下刈と捕植を続け、広葉林の育成に努めるための活動を行ってきました。6月29日に下刈作業を行い、8月9日には置賜ブロック緑の少年団の皆さんと交流会を実施し、豊かな海を育むための森づくり活動の意義を説明しました。

活動の感想

豊かな生態系をもつ里山を維持管理することで、自然環境を良好な状態に保ち、ひいては川によって繋がっている海の環境を守り「海の幸」を保護し、次世代に豊かな自然環境を残すため、また地球温暖化の問題が深刻な現在、少しでも二酸化炭素の減少につながるよう、地道ではあるが活動を続けている事を伝えることが出来たと思います。